

地下書庫にあるバックナンバーセンター（BNC）は、全学的な書庫スペースの有効利用をするために、学内の雑誌のバックナンバーを集中的に管理するものです。もちろん、学内のすべてのバックナンバーが揃っているわけではありませんが、現在約8,700タイトルが収納されています。

#### （注）外国雑誌センター館

国内における学術的な外国雑誌の網羅的な収集のために、昭和52年度から文部省によって始められた制度。理工学系、医学・生物学系、農学系、及び人文・社会科学系の4分野に別れ、京都大学は昭和62年度に理工学系のサブセンターに指定され、理工学系のセンターである東京工業大学と連絡をとりながら、国内未収誌を中心に精力的に収集している。



## 2) 特殊資料

特殊資料には、マイクロ資料、AV（Audio Visual）資料、学位論文、貴重図書、HRAF 資料などが含まれます。

### (1) マイクロ資料

マイクロフィルム、マイクロフィッシュ形態による、図書（貴重書を含む）、雑誌、新聞などがあり、5台のリーダープリンターによるサービスを行っています。なお、これらのリーダープリンターは原則として、附属図書館にあるマイクロ資料を利用する場合に限り使用できます。

### (2) AV（Audio Visual）資料

語学テープを中心に、英独仏露中日、手話等のほか、ビデオが約30種類、カセットが24種類あります。これらのテープは3階のAVブースで利用します。なお、AVブースでは図書館のテープに限り利用できます。

### (3) 学位論文

京都大学で博士号を授与した学位論文約2万3千件余りを保管しています。利用する場合は前もって申し込んで下さい。複写する場合は、部分複写を除いて著者の許諾が必要です。

### (4) 貴重書

附属図書館で貴重書扱いされているもの（絵図、器物なども含む）は、2万点以上あり、これらは地下の貴重書庫に保管されています。利用する場合は事前に閲覧願いを提出することになっております。院生、学生などの場合は指導教官の理由書が必要となります。貴重書の中には、重要文化財に指定されているものが39種類、170点ほどあります。これらは、原則として原本の利用はできませんので、マイクロフィルム、あるいは複製本を利用します。

なお、これらの貴重書の一部は、例年行われる附属図書館の展示会で一般公開されているばかりでなく、学外の公的機関（博物館など）の展示会などに貸出する場合があります。

### (5) HRAF 資料

HRAFとはHuman Relations Area Filesの略で、比較文化の観点から、世界の諸民族、諸地域の社会を対象に実証的な研究業績（図書、雑誌等）を集め、該当する頁を1枚ずつに分解し、それらをHRAF独自の分類表によって体系的に整理したものです。京都大学は1962年にHRAFの正式メンバーとなり、アメリカのエール大学に置かれている本部から継続的に資料が送られてきます。文化人類学をはじめとした研究に大いに役立つ資料といえます。

（雑誌・特殊資料掛）

## お知らせ

### オンライン目録検索サービスを拡大します

本館は本年1月、図書館専用の汎用電子計算機を

更新しました。詳細は次号に紹介しますが、これを機会にオンライン目録検索（OPAC）サービスを、

下記のように拡大しますのでご利用下さい。

### 1) 館内検索端末の増設

検索端末にノートブック型パソコン10台を増設しました。うち4台は、従来のものと同様にカード目録室に固定して設置します。残りの6台は、カウンターで貸出をして、所定の場所でご利用いただくものです。

今回、1階参考図書コーナーの西南角、および2階ロビーラウンジの大型本コーナーの壁際の一角に、それぞれ「情報コンセント」を新設しました。6台の貸出用パソコンは、この「情報コンセント」に接続して使用します。

「情報コンセント」は、電気のコンセントが電流を流すと同様に、通信回線に接続して情報を流すものです。回線は、本学のK U I N Sに接続していますので、将来的には、本館のオンライン目録検索だけでなく、国内外のパソコンやワークステーションとの通信もできるようにする予定です。また、ワープロや表計算などのソフトも順次利用できるようにする予定です。

検索端末の利用は、2月から開始しますが、当面は試行運用となります。詳細については、館内に掲示しますのでご覧下さい。なお、パソコンの貸出は参考調査カウンター（7番）で行います。



### 2) UNIX ワークステーションからの検索

本館の目録データベースは、平成2年10月に学内の研究室からの検索が可能になりましたが、UNIXワークステーションでは利用できませんでした。今回、これを可能にするため、新たにゲートウェイ装置を設置しました。

これは、4月より運用を開始する予定ですので、接続方法などの詳細が決まり次第、各部局にお知らせします。

(参考調査掛、システム管理掛)

### 全国大型コレクションをご案内します

下記の大学図書館より、平成4年度全国共同利用資料(大型コレクション)について利用案内がありましたので、お知らせいたします。

なお、内容明細のある資料につきましては、本館の参考図書コーナーに、その紹介パンフレットを備え付けておりますのでご覧下さい。

#### ・愛媛大学附属図書館

「Foreign Relations of the United States (アメリカ国務省外交文書)」 \*内容明細あり

#### ・金沢大学附属図書館

「国際法研究文献コレクション (International Law) マイクロフィッシュ版)」 \*内容明細あり

#### ・島根大学附属図書館

「JURIS-Classeurs (フランス法令集) Editions Techniques S.A. -FR-」 \*内容明細あり

#### ・弘前大学附属図書館

「有価証券報告書総覧 平成3年度」

#### ・北海道教育大学附属図書館

「マイクロフィルム版物語文学書集成」 \*内容明細あり (=北教大図書館報 第53号)

(参考調査掛)

### 「図書館の達人」(ビデオ) パート2を購入しました

昨年度購入したパート1は本誌でも紹介しましたが、「図書館の機能」、「文献検索の基礎」、「雑誌記事の調べ方」の3巻で構成されており、利用者の方々ばかりでなく図書館職員の方々からも好評をいただいております。

今回購入したパート2は、第4巻「人名情報の探し方」(24分)、第5巻「データベース検索入門」(25分)、第6巻「レポート・論文のまとめ方」(28分)という構成になっており、パート1と合わせて学習や研究に図書館を活用するための技術を、具体的事例を疑似体験しながら学べる内容となっています。

利用を希望される方は、3階の雑誌・特殊資料カウンターにお申し込み下さい。

(雑誌・特殊資料掛)